

2022年1月27日

各 位

会 社 名 アンリツ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 濱田 宏一
 (コード：6754、東証第1部)
 問合せ先 取締役 専務執行役員 CFO 窪田 顕文
 (TEL. 046 - 296 - 6507)

2022年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年1月27日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年4月27日に開示した2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 2022年3月期の連結業績予想数値の修正（IFRS・2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者 に帰属する 当期利益 (百万円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円)
前 回 発 表 予 想(A)	114,000	20,500	20,500	16,200	16,200	118.09
今 回 修 正 予 想(B)	110,000	17,500	17,500	14,000	14,000	102.55
増 減 額(B-A)	△4,000	△3,000	△3,000	△2,200	△2,200	—
増 減 率 (%)	△3.5	△14.6	△14.6	△13.6	△13.6	—
(参考) 前 期 実 績 (2021年3月期)	105,939	19,651	19,838	16,143	16,105	117.18

(参考) Q1～Q3為替レート： 1米ドル=111円
 Q4想定為替レート： 同上

2. 修正の理由

世界的な半導体不足が社会経済活動に及ぼす影響が長期化しており、当社の生産も半導体を含む部品供給不足による影響を大きく受けています。

当社グループの主力である通信計測事業においては、5G関連の開発需要が堅調に推移していますが、スマホ製造の一部の短納期顧客で半導体不足の影響があることや、米国でCバンドの商用化スケジュールに遅れが生じるなど、先行き不透明な状況が継続する見込みです。

PQA事業においても、半導体不足の影響による納期の長期化が続く見込みです。

このような状況から、通信計測事業及びPQA事業については、期初の計画を下回る見込みのため、売上収益及び営業利益を下方修正します。その他の事業については、2022年1月4日付で連結子会社化した株式会社高砂製作所の第4四半期の業績を取り込むことに伴い、売上収益及び営業利益がそれぞれ増加する見込みです。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間40.00円を予定しています。

(参考)

セグメント別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2021年4月27日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	114,000	110,000	△4,000	△3.5	105,939
通信計測	82,000	77,000	△5,000	△6.1	74,809
P Q A	23,000	22,600	△400	△1.7	21,419
その他	9,000	10,400	1,400	15.6	9,709

セグメント別営業利益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2021年4月27日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
営業利益	20,500	17,500	△3,000	△14.6	19,651
通信計測	18,500	16,000	△2,500	△13.5	17,714
P Q A	1,800	1,300	△500	△27.8	1,340
その他	1,200	1,300	100	8.3	1,797
調整額	△1,000	△1,100	△100	—	△1,201

地域別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2021年4月27日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	114,000	110,000	△4,000	△3.5	105,939
日本	37,000	35,500	△1,500	△4.1	32,202
海外	77,000	74,500	△2,500	△3.2	73,736
米州	22,500	22,500	—	—	21,380
EMEA	11,500	11,500	—	—	11,021
アジア他	43,000	40,500	△2,500	△5.8	41,334

(注) EMEA (Europe, Middle East and Africa) : 欧州・中近東・アフリカ地域

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。